

## ■駿台全国模試の受け方について

中間考査が終了しました。4日間お疲れさまでした。中間考査を境に1年間の後半戦に進みます(2年生にとっては3年間の折り返しでもあります)。この折り返し点での自分の立ち位置を再度確認し、再加速して日々の学習に取り組んでほしいと思います。

1・2年生にとっては、10月・11月に大きな模試が2つあります。今回は14日に実施予定の駿台全国模試の意義と受け方について説明をします。



駿台全国模試は、大手予備校である駿台予備校が実施する模擬試験で、全国の大多数の公立高校生が受験する進研模試と違い、首都圏の有名私立高校や中高一貫校も参加するハイレベルな集団を母集団とする試験です。試験の難易度もそれなりに高く、進研模試ではまあまあとれるけど、駿台模試だと点が取れない、と感じた2・3年生も多いことと思います。ただ、これは裏を返せば駿台模試は「高得点を狙わなくていい」試験とも言えます。

偏差値	得点率	到達レベル
75	約70%	東大(理Ⅲ)
70	約60%	東京医科歯科
65~67	55~58%	東大(理Ⅲ以外)・旧帝大(医)
60~64	53~55%	京都・一橋・東工
57~59	48~52%	旧帝大・群馬(医)・山形(医)
50前後	40~42%	千葉・筑波・横国

上の表を見て分かるように、駿台模試では6割とれれば最難関大学レベル。半分とれれば旧帝大レベルや国公立大医学部レベルに十分届きます。ですから、今回の駿台模試の目的は、全体的に難易度の高い問題にあたったときに、

「どの問題を捨て、どの問題にエネルギーを注ぐか」

「どのような時間配分と解答順序で問題を解くか」

という、戦略の立て方を練習することにあります。全ての問題に均等にエネルギーを注ぐ必要はないのです。4割捨てていいんです。大切なのは「自分が解くべき問題を見抜く眼力」を身につけることです。「難しい」ということをネガティブにとらえる必要は全くありません。今は解けそうな問題を頑張ればよいのです。

そしてこのことは、皆さんの学習に対する取り組みについての指針を与えてくれるものでもあります。日々の学習を行う際に、つい「あれもこれも」と全てをやろうとして消化不良に陥ったことはないでしょうか。日々の学習こそ、「優先順位をつけて、先に取り組むことと後回しにすることを明確に区別する」ことが達成感を得られる効率的な学習だと思います。「複数のミッションの優先順位をつける」トレーニングは、駿台模試への向き合い方と全く同じなのです。

## ■大学別オープン模試の受け方について

3年生は、今月末あたりから「大学別オープン模試」が次々と実施されます。「大学別模試」は、もちろん該



当する大学を志望する生徒を対象に行われるもので、出題範囲・レベルも実際の入試問題に寄せて作成されています。外部会場で実施されるものも多く、隣の席に座っている人は同じ大学を目指す「ライバル」。普段の校内での模試と比べて緊張感も本番レベルです。模試の問題は、予備校が近年の入試問題を研究してつくった「最新の予想問題」です。それを手に入れる(そして全力で取り組むという経験ができる)だけでも受ける価値はあるでしょう。志望大学のオープン模試があればなるべく受験するようにしましょう(都合がつけば母集団の大きい大手予備校のものは2つくらい受けたいところです)。ただし結果(判定)に神経質になる必要はありません。現役生はこれから力を伸ばす時期。解けなくて当たり前なのです。本番仕様の問題で質の高い練習試合を行い、今後の学習戦略のための貴重な情報にすればよいのです。

どの学年も、この時期の模擬試験は「受け方・活かし方」がとても重要になります。模試は「現時点の自分の弱点を教えてくれる最良の先生」です。上手に使って、後半戦の飛躍のきっかけとしてほしいと思います。

**連絡** 10/26(木) 医学科セミナー締切 10/10(火)

## ■チームMJからのメッセージ

久しぶりに昨年度の卒業生から「2学期の過ごし方」について温かいエールをいただきました。卒業しても後輩を応援してくれるメッセージです。

●まずは近況報告からさせていただきます。長いとは聞いていましたが、長いようです。終わって夏休みでした。部屋でのんびり動画、サークルや団体の活動、高校生まではなかなかできなかった舞台鑑賞や映画鑑賞、旅行、アルバイト、課題…等々やっている間に授業が始まっています。8月1日の記憶なんて先週のように。よほど充実していたのでしょうか。今は、シェイクスピアプロジェクトという学生団体の公演準備で忙しく過ごしています。

ここで突然ですが謝りたいこと兼助言です。

受験生の三年生へ、この夏、そして今も SNS とか少しでも見ちゃうと先輩がはっちゃけていますよね、本当にイライラすると思います。残念ながらこれからも続きます。私も某夢の国へ行った投稿をいくつか…。勝手に卒業生代表を名乗って謝罪します。ごめんなさい。疲れて帰宅したときや家で勉強しているのにゴロゴロしている家族にも言えることだと思います。ゴロゴロしている人代表を名乗って謝罪します。ごめんなさい。でも、ここで負けないかがカギになります。実際、私も先輩方の楽しそうな投稿をみて、ずっとゲームをしている妹をみて、自分は我慢してるのにと、自分がみじめに見えて辛くて不安で悔しくて、ひどいときは泣いていた時がありました。でもあるとき思いました。先輩も乗り越えていたんだ、負けずに私もあんなふうに楽しく過ごすんだと。辛抱できたら勝てる、勉強の神様(?)は見てくれているはず。それからは耐え続けていました。あのキツイ期間の先にたどり着いた今、先輩よりも充実して過ごしているのは私だと自信をもって言えます。どうか負けないでください、乗り越えてこの私よりも楽しんでますと煽りに来てください。待っています。

一、二年生の後輩たちにもメッセージを残しておこうと思います。

私は部活に没頭しながら進路を少し考えていた時期でしたでしょうか。よく言われていたのは、「何を学びたいのか」でした。でも決まらない、まだわからない、将来に役立つ学問なんてなに?、とっていました。今の私が、過去の私と同じ悩みをもつ高校生に助言するなら、「何を学ぶのか」じゃなくて、「何がしたいのか」です。

私は学びたいことはわからないけど、やりたい活動がある、好きなことができるから、で進路が固まっていたと言っても過言ではありません。そして、やりたいことができているよかったと思っています。実際に、私の大学でも学びたいことがあって来たという人もいますが、やりたいことができる環境があるから、興味を持っていることに関われるから、好きな場所が近くにあるから、という人もいます。私の親戚には歴史が好きで伝統的な街に住みたいからという理由で歴史がある地域の大学に行った人もいます笑。大学で学びたいこと、将来が決まることは多いそうです。焦らないで大丈夫です。だから私が言いたいことは、大学で何をしたいか、です。参考になるかわかりませんが、進路を考え始める一歩になれば幸いです。考えながら楽しく MJ 生活を過ごしてください! (明治大学 A 先輩)

●前女生の皆さんお疲れさまです。季節の変わり目で勉強にスイッチが入った人も多いのではないかと思います。そこで参考までに、私が各学年でこの時期をどう過ごしたかをご紹介します。

高1の2学期には、既に理系に進むと決めていましたが、主に時間を割いたのは苦手だった国語の学習です。学校の課題だけでも私にとってはかなりの量でしたが、それを丁寧にこなしつつ、先生方に教えて頂いた参考書等を使って勉強しました。何をやるかより、学習習慣をつけることを大事にしたことで読解力が上がったと感じます。

高2の2学期には、国数英を仕上げることに執着し、特に数学には多大な時間を割いた記憶があります。2年3学期くらいから理科に本腰を入れられると3年になって若干余裕が生まれるので、この時期の使い方は大事だと思います。

高3の2学期には、ほとんど授業が終わるので、今までの復習を兼ねた問題演習が中心でした。理系科目以外にはほぼ時間を使いませんでした。理科は最後の方の範囲までもれなく身につくよう、今まで通り焦らず丁寧に学習することを意識しました。寒くなったり出願が始まったりで、精神が安定しづらい時期だと思いますが、計画と振り返りを怠らず冷静に過ごすと良いです。苦しい時は、家族ではなく友達や先生に不安を聞いてもらっていました。皆さん頑張ってください、応援しております!! (東北大学 K 先輩)